

【部会・分科会活動報告】 2016年5,6月度

食 品 安 全 研 究 会	食品微生物研究部会	<p>1. 各部会の活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> • MALDI-TOF/MS 分科会：5月24日の部会において、製品評価技術基盤機構（NITE）川崎先生と、ILSI 微生物研究部会との協働研究体制についての説明を行った。覚書（秘密保持契約）に関しては、NITE と各企業の間で契約することで承認を得た。6月29日に NITE と打合せを行い、具体的な活動について意見交換を行った。 • チルド食品勉強会：5月18日イギリスチルド食品に関する資料や低温増殖性芽胞菌に関する文献の読み合わせ実施。次回8月3日開催予定。 <p>2. 部会全体会議・勉強会</p> <p>5月24日 13:00-17:30、於 花王(株)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 各分科会の活動報告（MALDI-TOF/MS 分科会、芽胞菌分科会、チルド食品勉強会、非加熱殺菌勉強会） 2) NITE との連携について決議 3) 勉強会テーマ：高圧殺菌、過酢酸等の非加熱殺菌技術の現状 <ol style="list-style-type: none"> ①過酢酸殺菌について（エコラボ、小津産業）よりプレゼン ②農研機構 食品研究部門 山本先生からの基調講演 テーマ「高圧殺菌等の非加熱殺菌の現状と展望」 <p>3. 次回、部会全体会議について</p> <p>8月26日 13:00-を予定、於 サントリーワールドリサーチセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会：大阪府立大学 土戸先生のご講演 テーマ「（仮題）耐熱菌と損傷菌について」
	食品リスク研究部会	<p>1. WG 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性試験 WG 5/19（木）14:00-17:00 於 味の素(株) 「食品の安全性評価における動物実験代替法」に関し、情報共有およびディスカッション。
	香料研究部会	
バ イ オ テ ク ノ ロ ジ ー 研 究 会	植物研究部会	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
	環境リスク評価分科会	ERA プロジェクト調査報告第27号（MAY2016）6月発刊 ERA プロジェクト調査報告第28号（JULY2016）8月発刊予定
	アレルギー性タンパク質の分析方法分科会	特になし
	組換え体検知法分科会	特になし
	バイオテクノロジー研究会全体	<p>5月19、20日 ILSI CERA ワークショップ開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 日・米・豪の Assessment Endpoints とそのために必要な評価項目の比較が行われ、これからの生物多様性影響評価のあり方が議論された。 ▶ 3カ国間で Assessment Endpoints に大きな差異はなく、形態的特性、中でも雑草性の評価が重要であるとの理解が得られた。また、雑草性に関する評価を海外データにより評価することは科学的に可能であるとの議論がなされた。 ▶ 両日とも非常にオープンな雰囲気での科学的な議論が出来、大変有意義であった。 ▶ フォローアップの勉強会を9月か10月に行うことを検討中。 <p>研究会は7月13日に予定。</p>

栄養健康研究会	栄養研究部会	勉強会講師交渉 (5月18日)
	GRプロジェクト	5/26 GRプロジェクト会議 於 ILSI Japan 会議室 ・GR測定のプロトコル改訂版の検討についての報告 ・第3回多施設試験の実施について
	茶類研究部会・茶情報分科会	5月20日、第40回茶情報分科会を開催。 ① 茶類の有効性・安全性情報の発信：部会内特別プロジェクトの成果発信に伴う手続きについて確認を行った。 ② 茶成分データベース：茶試料の保存法および未分析試料の扱いについて確認を行った。 ③ 茶類研究部会新規テーマ：茶情報分科会終了後、新たに取り組むテーマの方向性について議論を行った。
食品機能性研究会		
寄付講座「機能性食品ゲノミクス」		第III期寄付講座(2013年12月開始、5年間)研究進行中。 9/14に公開シンポジウム開催予定。
C H P	Project PAN (Physical Activity and Nutrition)	5月18日 「すみだテイクテン」自主グループ交流会(墨田区中ノ郷信用組合本店会議室) 5月24日 震災被災地支援「いしのまきテイクテン」(講師：木村美佳、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、石巻専修大学山崎ゼミ) 6月8日 ビデオ「みんなで拓げるテイクテン」をYouTubeにアップ
	Project SWAN (Safe Water and Nutrition)	5月30日 SWAN3:キックオフミーティング(参加者60名、ニンビン省、ベトナム) 6月24日 SWAN3:キックオフミーティング(参加者32名、ハナム省、ベトナム) 5-6月 SWAN3:地域ヘルスワーカーによる料理教室、紙芝居式教材を用いた栄養・食品衛生教育、栄養不良児の母親を対象とした栄養カウンセリング及び拡声器による情報提供(ターイグエン省・バクザン省、ベトナム)
	Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)	6月7日 鉄強化米プロジェクトのコンポステラバレーにおける導入成果報告会(ミンダナオ島コンポステラバレー州、フィリピン) 6月21日 フィリピン食品栄養研究所主催フォーラム「革新的な鉄強化米技術の今後の展開に向けて」(参加者80名、ルソン島イロコス州、フィリピン)
	CHP全体	
国際協力委員会		2016年第3回国際協力委員会 1. 2016年6月27日(木)15:30-16:50. ILSI Japan 会議室 出席者：計19名 1) 農水省プロジェクト： ・ H29年度以降、(JETRO 枠で)調査することを検討中、現在のデータのメンテナンスも考える必要がある ・ 中東、中南米については、コンサルタントに依頼する必要があるため、メンバーからの情報提供をお願いしたい 2) アジア諸国の栄養表示、健康強調表示等に関するデータの更新： ・ アジア各支部に依頼し、栄養表示、健康強調表示に関するデータを更新した ・ できれば8月末のBeSeTo会議までに取りまとめの形を作りたい。当委員会メンバーの共同作業としたい、論文形式にまとめ雑誌に投稿することを検討中 3) 第8回BeSeTo会議を8/30-31北京で開催：

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Satellite Workshop “Regulations on Food Contact Materials” : 日本食品包装協会の住本充弘氏に講演依頼 ・ 通常の BeSeTo 会議の発表テーマ候補は、香料の安全性評価方法の変更、食品添加物指定の近況及び公定書第 9 版、HACCP 認証制度導入の現状、アジア地区における原料原産地表示の動向、食品安全委員会の雑誌のトピックス“Food Safety” https://www.istage.ist.go.jp/browse/foodsafetyfscj等 ・ 次回会議 (8 月 2 日) で、日本からの発表テーマ、発表者を含め参加者を決定
情報委員会	<p>4) 次回は、8 月 2 日 (火) に開催予定 (15:00-17:00、事務局会議室)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 1 回 (6 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 (随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 24 巻 3 号 (通巻 92 号) : 5/10 発刊 ・ 24 巻 4 号 (通巻 93 号) : 翻訳、監修、編集 (8/10 発刊予定) ・ 6/2 編集委員会 (通巻 94 号採択論文、翻訳者候補決定) ・ 25 巻 1 号 (通巻 94 号) : 翻訳中 (11/10 発刊予定)
編集部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「イルシー」誌 126 号、発行 ・ 「イルシー」誌 127 号、原稿査読・編集

【講演会・シンポジウムご案内】

講演会名	案内	担当研究部会

【事務局からのお知らせ】

理事会	<p>第 4 回理事会が平成 28 年 6 月 7 日 (火) 15 時より開催された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 審議事項 <p>第 1 号議案 福島昭治氏の理事退任の件 満場一致で承認</p> <p>第 2 号議案 中江大氏の理事選任の件 満場一致で承認 本人承諾</p> 2. 報告／討議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 東大寄付講座研究成果シンポジウム (9/14 開催)について報告 宇津事務局長より 準備進捗状況の報告があった。6 月半ばには統一テーマ、発表テーマと発表者を決定予定。 2) 東大寄付講座の今後 安川理事長より、東大と打合わせの結果、現在の寄付講座の実施とは別に、農学部を超えた大きな枠組みで、多くの企業が参画できる大きな共通テーマの寄付講座の創設を進める方向であることの報告があった。 3) 新たな研究分科会の提案 同理事長より現在「健康な食事」研究分科会の設置について検討しており、提案の研究分科会設置の目的は、主に外食と中食(弁当・給食・惣菜等)を担う企業がアカデミアと共同して、科学的根拠に基づいて日本人の「健康な食事」の概念を確立し、その普及を図ることで国民の健康の維持・増進に寄与することであることが報告さ
-----	---

	<p>れた。</p> <p>4) 農水省食品規格基準等調査事業の今後 浜野特別顧問より以下の通り報告があった。 ○平成 28 年度調査活動/調査情報は、情報一元化のため、今のデータベースを JETRO にリンクさせることになる見込み。 ○平成 29 年度の本調査事業の再開の有無が、明らかになるのは 9 月以降と推測される。</p> <p>5) CHP グローバル化検討進捗について 戸上理事より以下の報告があった。 2015 年 1 月の ILSI 本部理事会でプレゼンテーションを行い ILSI 本部のミッションであることが確認され、今後 CHP の活動の範囲、組織、財政等について検討するためのスタディグループが設置された。ILSI JAPAN から戸上理事・山口顧問が選任され、新しい地域でのフィジビリティスタディーを実施する提案が出され、担当者を決め 8 月 12 日を目標にフィジビリティスタディーの結果を報告することとなった。</p> <p>6) ILSI 本部関連、WHO との関係についての進捗 宇津事務局長より以下の通り報告された。 5 月 28 日の WHA;”WHO’ s Framework for Engagement with Non-State Actors” を採択。この枠組みの中で、ILSI は Private sector の中の International Business Association に属すると WHO 事務局から繰り返し言われてきた。 ⇒ ILSI=International Business Association と実質的に決定。</p> <p>7) 定款変更（役員任期条項）について 宇津事務局長より東京都に申請していた定款変更（役員任期の条項）について状況が説明された。 2/17 の総会で決議した定款の変更（役員任期を総会までと明確化）は総会の日が固定でなく、任期が 2 年を超過した場合には法令違反となるため東京都から認証されない見込み。定款を現状のままにするか否かについては次回審議。</p> <p>8) その他 ・2017 年 October 15-20, Argentina Buenos Aires で開催される International Congress of Nutrition 2017 に ILSI は 3 つのシンポジウムを設けるが ILSI JAPAN としては参加しないこととなった。 ・福島理事の退任で副理事長が 3 名になっているので、新副理事長候補は、次回の理事会にて提案予定。 ・研究会、研究部会活動強化のためのフォローを徳田一氏（花王）に依頼。 ・特別顧問の山口隆司氏は、6 月末までで退任。</p>
事務局	6 月末日付にて、総務・経理担当 内田氏退職、7 月より同職に花王（株）俵積田（たわらつみた）氏に業務を委託